

Nissin
DIGITAL

コマンダー

Air 10s

富士フィルム用

取扱説明書



ニッシン製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用にあたっては、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いいただきますようお願いいたします。また、カメラの操作・機能に関しましては、ご使用になるカメラの取扱説明書をご参照ください。

対応カメラ

最新の対応カメラ一覧表は、
<https://www.nissin-japan.com>でご確認ください。



ニッシンエアシステム(NAS)は、ニッシンストロボとニッシンコマンダー用に設計された電波式ストロボ通信システムです。

- 2.4GHz帯 (ISMバンド) ※技術基準適合認定取得済み
- 使用可能範囲：最長100m (使用環境によって異なります)
- 金属、ケーブル類、壁、2.4GHz帯を使用する他の機器などによって、NASの使用可能範囲が制限される場合があります。

製品保証について

本製品はメーカー保証が適用されますので製品添付の保証書、購入証明書を大切に保管してください。なお、本製品の付属アクセサリーは消耗品扱いとなりますのでメーカー保証は適用されません。

安全上のご注意 ■必ずお守りください。

ご使用になる人や他人への危害、財産への損害を未然に防止する為、お守り頂くことの説明をしています。よくお読みになり取扱いにご注意ください。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、感電したり、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。必ずお守り下さい。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容、および物理損害の発生が想定される内容を示しています。必ずお守りください。



警告

- 熱くなる、煙が出る、焦げ臭い、液漏れ、変色などの異常が発生した時は、やけどに十分な注意して速かに電池を取り外してください。
- 本機は高電圧の部分がありますので、絶対に分解しないでください。修理の場合は、弊社に直接またはご購入頂いた店舗にご依頼下さい。
- 落としたり、破損したりした場合、または機器の中に物体が落ち込んだ場合には、絶対に露出部分に触れないでください。
- 人の目の前（特に乳幼児）に近づけて発光しないでください。目の近くで発光させると、視力傷害を起こす危険性があります。特に乳幼児を撮影する場合は1m以上離れてください。
- コップ、化粧品、薬品の入った容器のそばで使用しないでください。こぼれたり、機器の中に入ったりした場合、火災、感電または傷害の原因になります。
- 本機は防水ではないので、雨がかかる場所や、湿度の高い場所に置かないでください。
- 自動車など40℃を超えるような高温になる場所に放置しないでください。
- 可燃性ガスおよび揮発性ガスなどが大気中に存在する恐れがある場所で使用しないでください。
- 走行中の車輛に向けてフラッシュをたかないで下さい。
- 発光面を人の身体に近づけて発光しないでください。怪我する恐れがあります。
- バッテリーは正しくセットして下さい。極性を間違えると液漏れや発火、爆発の原因になります。



注意

- 電池を高熱にさらさないでください。
- 乾電池は充電しないでください。
- 連続発光後は本体（特に発光パネル部）や電池が熱くなっていますので、火傷にご注意ください。
- 不安定な場所で本機を使用しないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下したりすることにより怪我の原因となる場合があります。
- 強い衝撃を与えたり、床に投げつけたりしないで下さい。



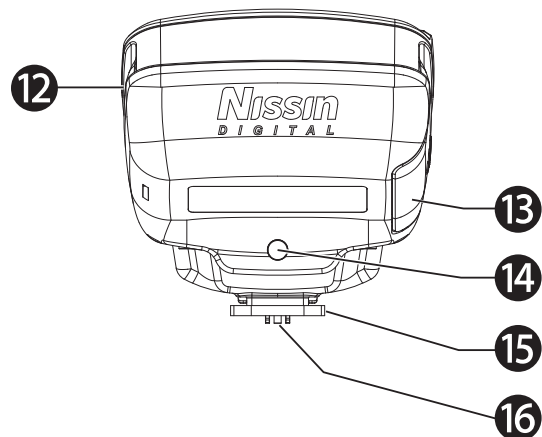
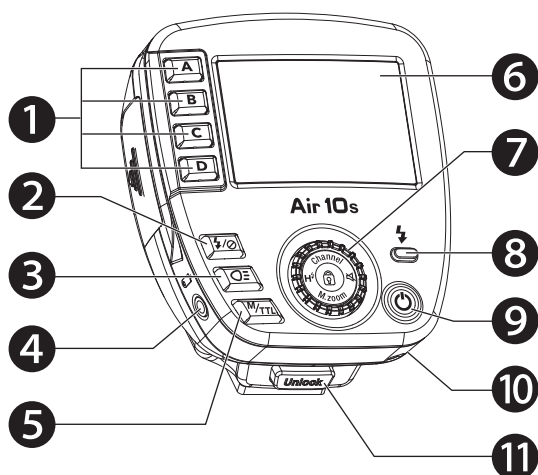
その他の注意

- ベンジンやシンナー、アルコールなどで本機を拭かないでください。変色や変形の原因となります。汚れのひどいときは柔らかい布で乾拭きしてください。
- 本機を長期間使用しない場合は、液漏れ防止のため電池を抜いて保管してください。

目次

製品保証について	2
安全上のご注意	3
各部名称／付属アクセサリ	5
省電力モードについて	6
お使い頂く前に	7
基本操作	8
カメラに装着する／カメラから取り外す	8
基本設定	9
ペアリング設定	9～12
グループの設定と操作	13
ストロボのグループ設定	13～14
Air10sのグループ設定と操作方法	15～16
アドバンスグループについて	17
基本グループからアドバンスグループへの切り替え方	17
アドバンスグループで設定できるモード	18
オープンモード	19
モード設定	20
TTLモード	20～21
マニュアルモード	22～23
セレクトダイヤルの機能ボタン	
チャンネル設定	24～25
ハイスピードシンクロ (HSS) 機能	26
照射角 (ズーム) の設定	27
ビープ音のオン／オフ	28
操作ロックボタン	29
その他の機能ボタン	
モデリング発光	30
その他の機能	
AF補助光／リセット	31
ファームウェアアップデートについて	32
各モードで利用できるグループ	33
主な仕様	34

各部名称／付属アクセサリー



- | | |
|--|-----------------|
| ① グループボタン | ⑧ パイロットランプ |
| ② グループオン/オフボタン | ⑨ 電源オン/オフボタン |
| ③ モデリングライトボタン | ⑩ ストラップ穴 |
| ④ シャッターケーブルソケット (2.5mm) | ⑪ ロックピン解除ボタン |
| ⑤ モードボタン | ⑫ マイクロSDカードスロット |
| ⑥ LCDパネル | ⑬ 電池蓋 |
| ⑦ セレクトダイヤル | ⑭ AF補助光 |
| <ul style="list-style-type: none"> • チャンネルボタン • HSSボタン • ズームボタン • ビープボタン • 操作ロックボタン | ⑮ 取付足 |
| | ⑯ シュー接点ピン |

● 付属アクセサリー

専用ケース

省電力モードについて

本機は、電池の消耗を防ぐために、省電力モードを備えています。

アイドル状態から30秒後にLCDが暗くなり、2分後に消灯します。省電力モード時はパイロットランプが2秒おきに点滅します。ボタンをどれか押すと、省電力モードから復帰しLCDが再点灯します。

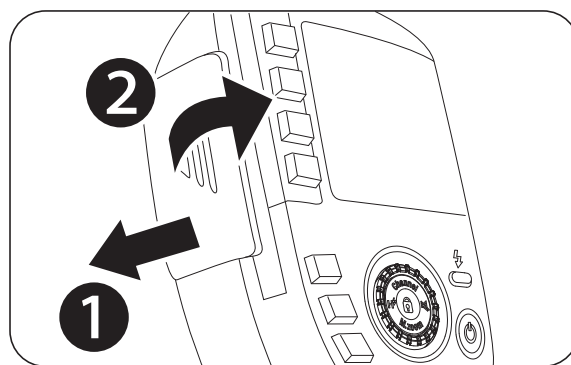
本機の操作を60分間行わなかった場合は電源OFFになります。

お使い頂く前に

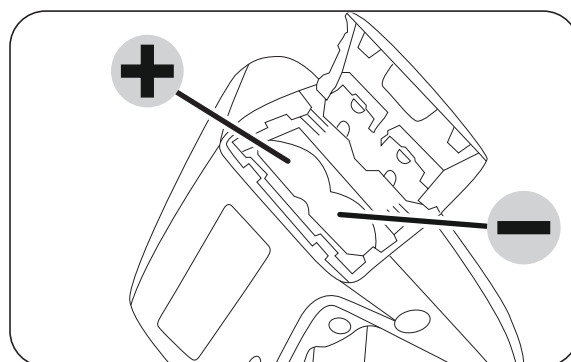
電池を入れてください

使用できる電池：ニッケル水素電池、アルカリ乾電池

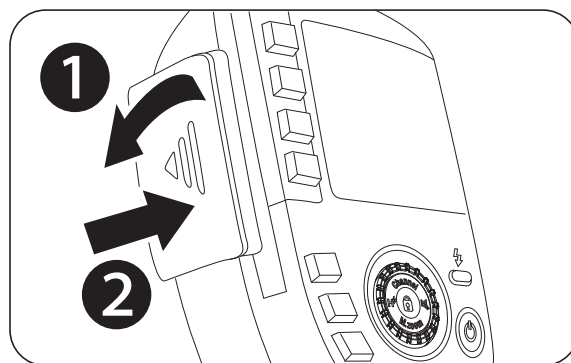
1. 電池蓋を図の①、②の順番に開きます。



2. 単4形電池2本の＋の向きを合わせて正しく挿入してください。



3. 電池蓋を①押してから②スライドさせて閉めてください。



❗ 注意

電池は、同じブランドで同じタイプの新しい電池を使用してください。同時に交換することをお勧めします。また、充電電池の場合は、すべて同時に充電した電池を使用してください。

お使い頂く前に

ペアリング設定

ワイヤレス撮影を行う前に、以下の手順にしたがって、本機とストロボのペアリング設定を行ないます。

❗ 注意

初めて使用する際は必ずペアリング設定を行なってください。

ステップ **1** … コマンダー、ストロボの電源をOFFにする。

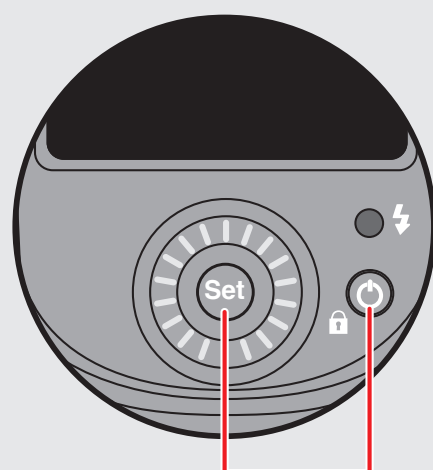
ステップ **2** … 以下の手順でペアリング設定を行います。

① **ストロボ** (NASの受信機能を内蔵するもの) の設定

Di700Aの設定

「セットボタン(**Set**)」と
「電源オン/オフボタン(**⏻**)」を
同時に 3 秒間長押しして
ください。

ビープ音がなりますので、
そのままで、②の
「コマンダーAir10sの設定」
を行います。



3 秒間長押し



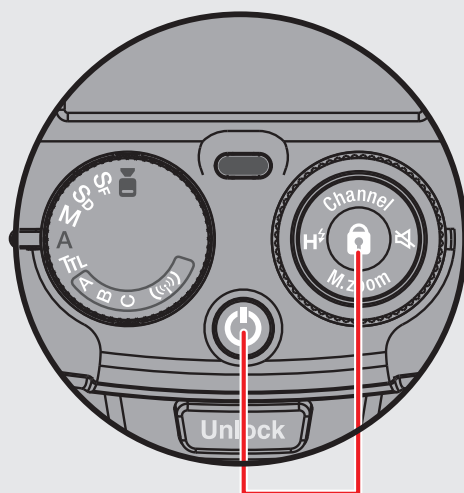
ビープ音

お使い頂く前に

i60Aの設定

「パワー調整ダイヤル(🔒)」と
「電源オン/オフボタン(🔌)」
を同時に3秒間長押しして
ください。

ビープ音がなりますので、
そのままで、②の
「コマンダーAir10sの設定」
を行います。



3秒間長押し

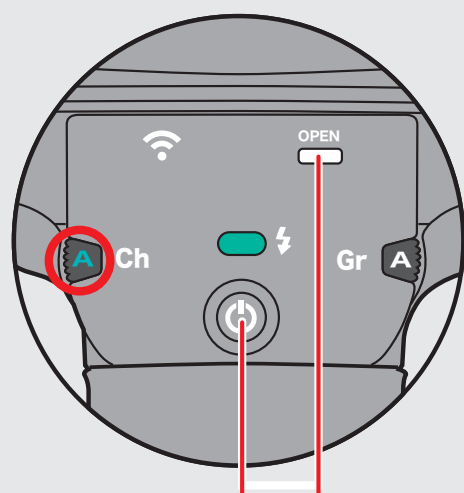


ビープ音

MG10、MG8の設定

Ch(チャンネル)を「Auto」に
して、「オープンモードボタン
(Open)」と「電源オン/オフ
ボタン(🔌)」を3秒間長押し
してください。

ビープ音がなりますので、
そのままで、②の
「コマンダーAir10sの設定」
を行います。



3秒間長押し

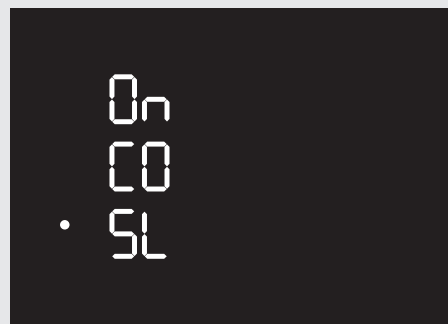


ビープ音

お使い頂く前に

MG80 Proの設定

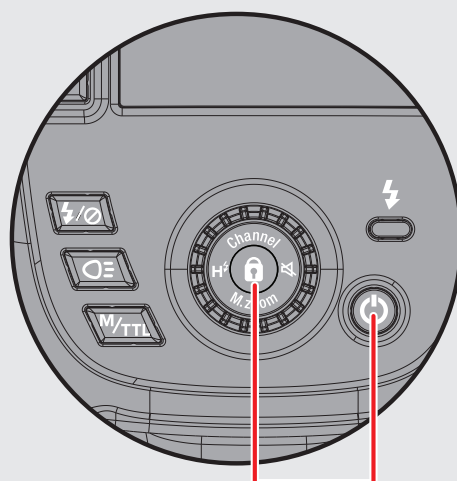
MG80 Proがスレーブモードに設定されていることを確認してください。(設定方法はMG80 Proの取り扱い説明書をご覧ください)



電源をOFFにします。

「セレクトダイヤル(🔒)」と「電源オン/オフボタン(🔌)」を3秒間長押ししてください。

ビープ音がなりますので、そのままで、②の「**コマンダーAir10s**の設定」を行います。



3 秒間長押し



ビープ音

お使い頂く前に

② コマンダー Air10s の設定

1. 「セレクトダイヤル(🔒)」と「電源オン/オフボタン(🔌)」を同時に3秒間長押ししてください。

2. パイロットランプが5秒間点滅した後、ストロボのビープ音が止まります。

3. これでペアリングは完了です。



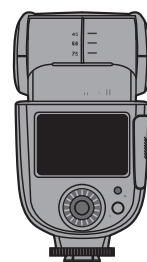
3秒間長押し



パイロットランプ
が5秒間点滅



ストロボのビープ音が止
まるとペアリングは完了。



❗ 注意

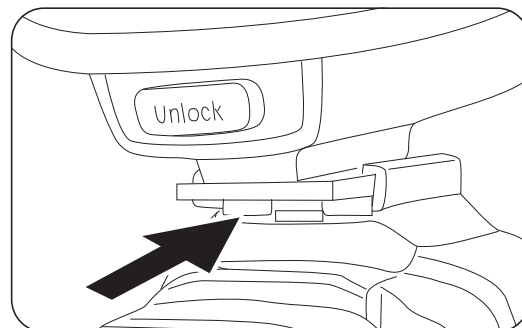
ペアリング設定は、電源をオフにしても設定が記憶されたまま残ります。

※テスト発光を行うときはコマンダーAir10sのパイロットランプを押してください。

基本操作

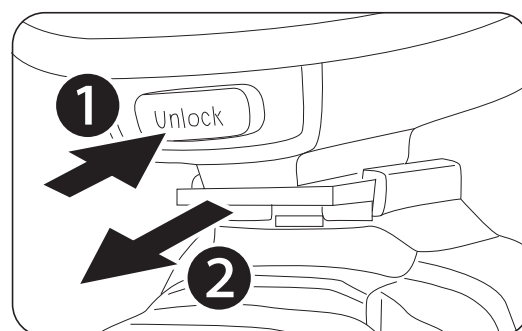
カメラに装着する

1. 本機を取付足をロックピン解除 (Unlock) ボタンを押しながらカメラのホットシューに挿入します。
2. 差し込んで、ロックピン解除ボタンから手を離すと、ロックピンが下りて固定されます。



カメラから取り外す

1. [Unlock] (ロック解除ボタン) を押しながら①、ホットシューから引き抜きます②。



❗ 注意

カメラやライトスタンドに本機を取り付けた際、本機を掴んで持ち上げないで下さい。取付足やカメラのホットシューが破損する恐れがあります。

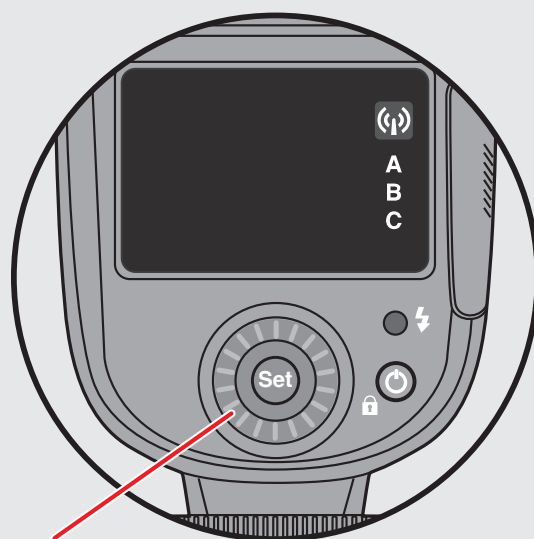
グループの設定と操作

本機は A、B、C、D の 4 つの基本グループと、 $\dot{A}$ 、 $\dot{B}$ 、 $\dot{C}$ 、 $\dot{D}$ の 4 つのアドバンスグループ、合計 8 つのグループがあり、グループごとでも、複数グループ同時でもコントロールできます。ただし、使用するストロボによっては利用できるグループが限られますのでご注意ください。
なお、1 つのグループには複数台のストロボを紐付けることもできます。では最初にストロボのグループ設定を行います。

ストロボのグループ設定

Di700Aの設定 (利用できるグループ：A、B、C)

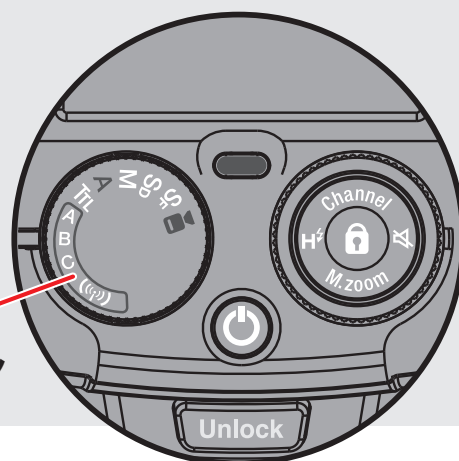
セットボタン (**Set**) を押すと、現在選択されているモードが点滅します。セレクトダイヤルを回して紫色の「(P)」を選び「**Set**」を押します。するとグループが点滅しますので、A、B、C いずれかのグループを選んでください。



セレクトダイヤル

i60Aの設定 (利用できるグループ：A、B、C)

モードダイヤルを回して、「ワイヤレスマーク」の A、B、C いずれかのグループを選んでください。

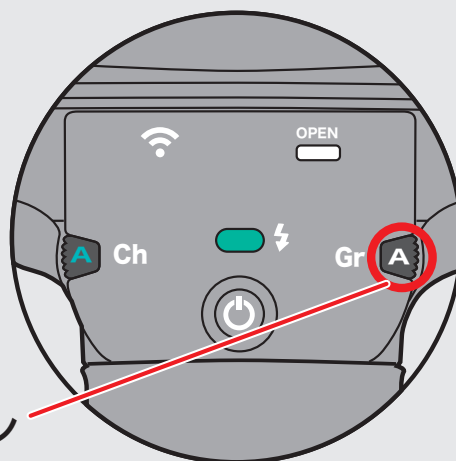


モードダイヤル

グループの設定と操作

MG10、MG8の設定 (利用できるグループ： A、B、C、D、 $\dot{A}$ 、 $\dot{B}$ 、 $\dot{C}$ 、 $\dot{D}$)

グループ切り替えダイヤルを回して、8つのグループの中から1つを選んでください。

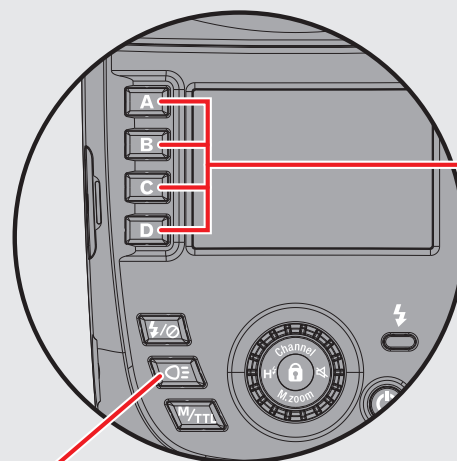


グループ切り替えダイヤル

MG80 Proの設定 (利用できるグループ：A、B、C、D、 $\dot{A}$ 、 $\dot{B}$ 、 $\dot{C}$ 、 $\dot{D}$)

グループ選択ボタンを押して任意のグループを選んでください。

基本グループとアドバンスグループを切り替えるには、モデリングライトボタンを約2秒長押しします。



グループ選択ボタン

モデリングライトボタン

グループの設定と操作

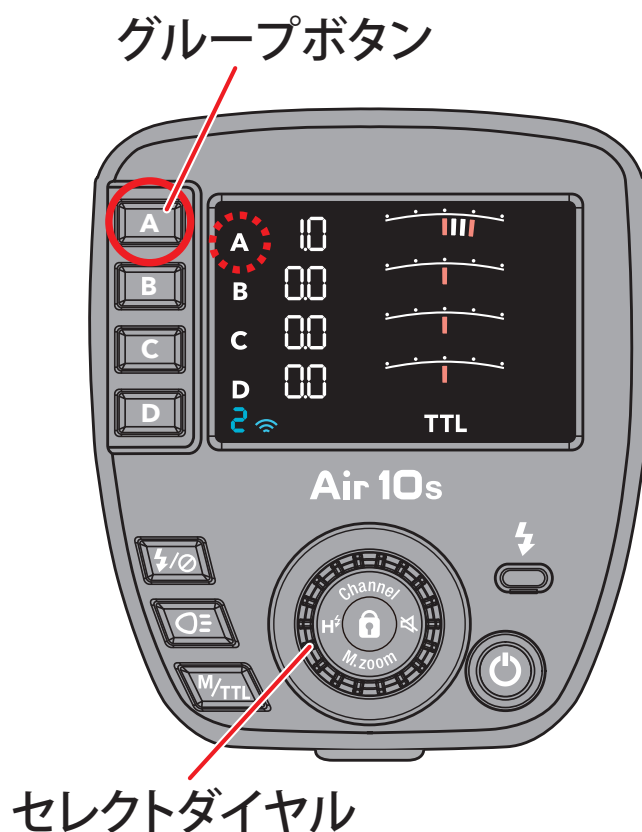
Air10sのグループ設定と操作方法

Air10s は 4 つの基本グループ (A、B、C、D) と 4 つのアドバンスグループ (Ā、B̄、C̄、D̄) があります。基本グループとアドバンスグループは同じ画面で操作ができませんので「**○≡**」を長押しして画面を切り替えます。(※アドバンスグループの設定などについては後述参照)

❗ 注意

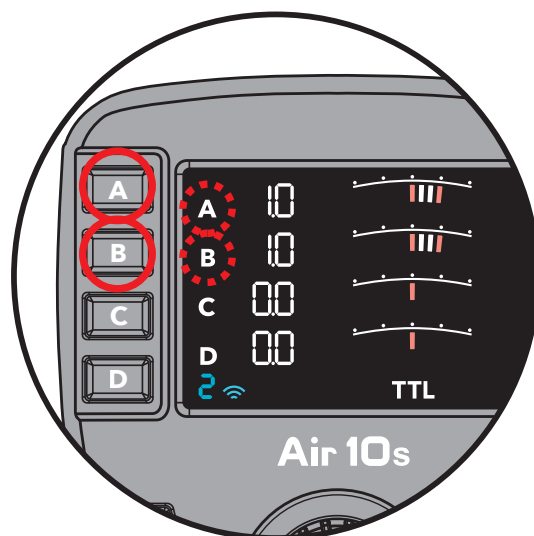
グループ D、Ā、B̄、C̄、D̄ は MG10、MG8、MG80 Pro で利用できます。

1. 液晶画面の左列のグループ表示が**点灯**しているときはセレクトダイヤルで表示されている全グループの設定値が変更できます。
2. 操作したい特定のグループボタンを押すと液晶画面のそのグループ表示が**点滅**します。点滅中はセレクトダイヤルによりそのグループのみの設定値変更ができます。もう一度グループボタンを押すとそのグループ表示が**点灯**に戻ります。



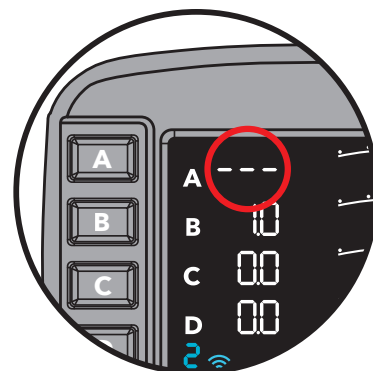
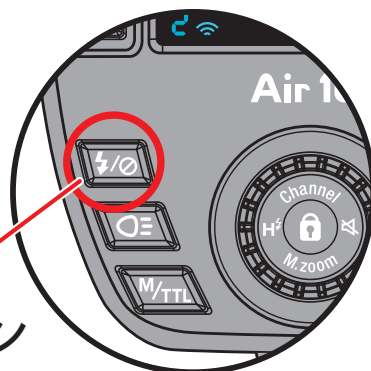
グループの設定と操作

3. グループ表示を同時に 2 箇所
点滅させれば 2 グループ、同
時に 3 箇所**点滅**させれば 3
グループ同時に変更できます。



4. 特定のグループの発光を停止
させる場合は、グループ**点滅**
中に「グループ オン / オフ ボ
タン」を押してください。発光停止中は液晶画面のグルー
プ表示が「---」と表示されます。

グループ
オン/オフボタン



グループの設定と操作

アドバンスグループについて

本機は 4 つの基本グループ (A、B、C、D) と 4 つのアドバンスグループ (Ā、B̄、C̄、D̄) を選んで利用できます。

(Di700A、i60A、AirR ではアドバンスグループは利用できません) ここでは、基本グループからアドバンスグループへの画面の切り替え方と、モードについてご説明致します。

❗ 注意

グループ D、Ā、B̄、C̄、D̄ は MG10、MG8、MG80 Pro で利用できます。

基本グループからアドバンスグループへの切り替え方

基本グループからアドバンスグループへ画面切り替えを行う時は「**○≡**」を長押ししてください。

モデリングライトボタン



グループの設定と操作

アドバンスグループで設定できるモード

ミックスモード

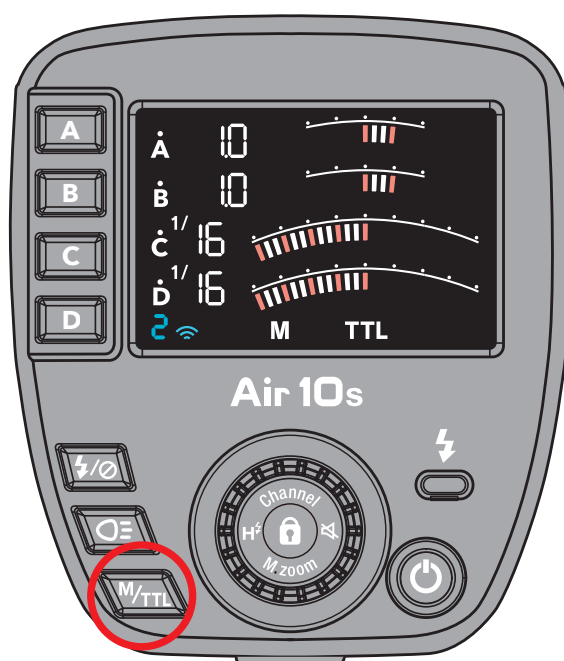
基本グループを利用する場合は、すべてのグループは同じモードしか選べません。つまり、全部 **TTL** モードか全部 **M** モードかどちらかになります。

一方、アドバンスグループで使用する場合は、モードを混在させることができます。

【例】：

・**A**、**B** グループは **TTL**

・**C**、**D** グループは **M** モード



モードの切り替え方法：

アドバンスグループにおいて、特定のグループ表示点滅時に「モードボタン (**M/TTL**)」を押すと、そのグループのモードが切り替わります。

❗ 注意

TTL モードと M モードについて、詳しくは P20～23 をご覧ください。

グループの設定と操作

オープンモード ※ MG10、MG8、MG80 Pro のみ対応。

NAS システムでは 1 台のストロボに 1 台のコマンダーしかペアリングできません。しかし、オープンモードが搭載されているストロボの場合は、ペアリングなしで通信が行えるオープンモードに切り替えることにより、1 台のストロボが 2 台以上のコマンダーの信号を受信できるようになります。

オープンモードの設定方法：

- 「モードボタン (M/TTL)」を長押しするとオープンモードに切り替わります。
- 使用するストロボのチャンネルが「AUTO」以外に設定されている場合は、「AUTO」に設定するか、または本機とストロボのチャンネルを同じチャンネルに設定してください。

① 注意

ペアリングしていない MG10、MG8、MG80Pro を OPEN モードで制御する場合、チャンネルは AUTO を使用できませんので、MG10、MG8、MG80Pro のチャンネルを本機と同じチャンネルに合わせてください。

モード設定

本機には、自動調光の「**TTLモード**」と手動調光の「**M(マニュアル)モード**」の二つのモードがあります。モードの切り替えは「モードボタン」で行います。

TTLメモリー機能とは：

TTLモードから**Mモード**に切り替えた時、直前のTTL発光量がMモードでの発光量に自動変換される機能です。(設定は不要です)

最初にTTLモードで大まかな光量を決めたあと、Mモードに切り替えて微調整できるので、最適な光量を素早く決定することができます。



モードボタン

TTLモード

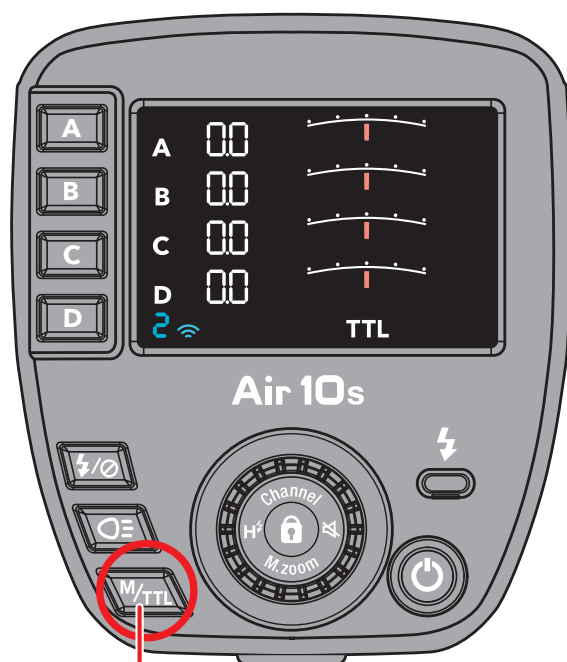
液晶画面下部に「**TTL**」と表示されます。TTLは発光量を自動調節するモードで、調光補正により微調節ができます。補正值はセレクトダイヤルを回して1/3EV※ステップ刻みで調節できます。暗くしたいときは一方向に、明るくしたいときは+方向に回してください。 **調光補正範囲**：-2EV ～ +2EV

※ 1/3EVに対応していないモデル、ファームウェアの場合は1/2EVステップになります。

モード設定

TTLモードの調光補正の仕方

1. 「モードボタン (M/TTL)」を押して TTL モード画面に切り替えます。
2. 変更するグループボタンを押して、グループ表示を点滅させます。
3. セレクトダイヤルを回すと補正值が 1/3EV※ステップで切り替わります。
4. 暗くしたいときは一方向に、明るくしたいときは+方向に回してください。



モードボタン

※ 1/3EVに対応していないモデル、ファームウェアの場合は 1/2EV ステップになります。

モード設定

M (マニュアル) モード

液晶画面下部に「M」(マニュアル) と表示されます。M (マニュアル) モードは発光量を手動調節するモードです。セレクトダイヤルを回すと発光量が 1/3EV※ステップ刻みで変えられます。光量は 1/1 が最大で、分母が大きくなるほど光量は小さくなります。

調節範囲：1/256 ～ 1/1

！ 注意

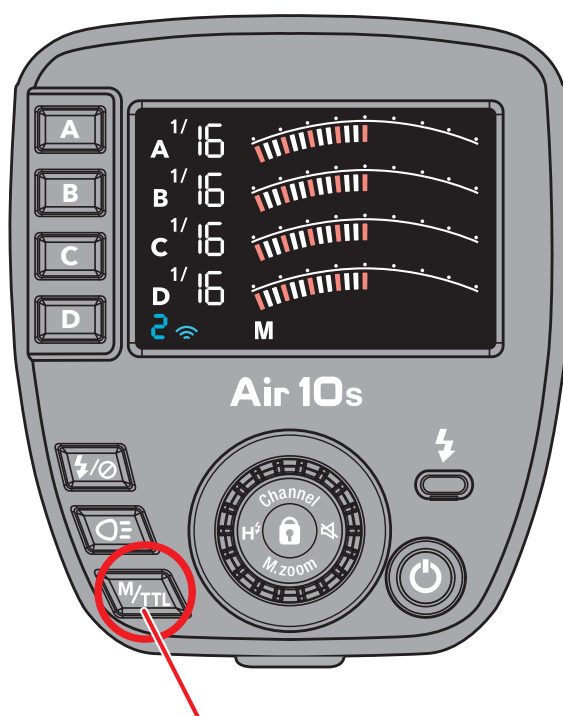
ハイスピードシンクロ (HSS) モードの時は、最小発光量が自動的に 1/32 に制限されます。詳しくは後述のハイスピードシンクロ (HSS) 機能の項目をご覧ください。

※ 1/3EVに対応していないモデル、ファームウェアの場合は調節範囲が 1/128～1/1、調節幅が 1EV ステップになります。

モード設定

M(マニュアル)モード手動光量調節の仕方

1. 「モードボタン (M/TTL)」を押して M モード画面に切り替えます。
2. 変更するグループのボタンを押して、グループ表示を点滅させます。
3. セレクトダイヤルを回すと発光量が 1/3EV※ステップで切り替わります。
4. 明るくしたいときはダイヤルを時計回りに、暗くしたいときは反時計回りに回してください。



モードボタン

※ 1/3EVに対応していないモデル、ファームウェアの場合は調節範囲が 1/128～1/1、調節幅が 1EV ステップになります。

セレクトダイヤルの機能ボタン



チャンネル設定

通常使用時は変更の必要がありませんが、無線 LAN、Bluetooth、ハンディフォン、ハンドフリーマイクなど 2.4GHz 帯を使用する他の通信機器が多く使われる場所では、電波干渉により NAS が正常に動作しないことがまれにあります。そのような場合は、通信チャンネルの変更を行うと改善することがあります。

⚠ 注意

チャンネルを手動設定できないモデルもあります。

⚠ 重要

Di700A、i60A、AirR をお使いの場合は、チャンネル1を使用できません。チャンネル2～8を利用してください。チャンネル1～8はMG10、MG8、MG80 Proで利用できます。

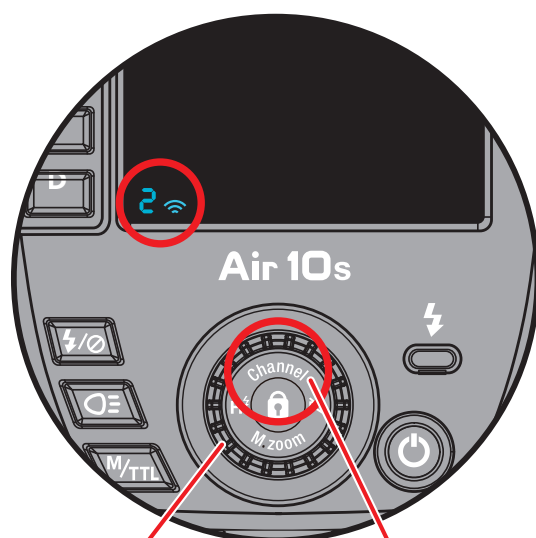
セレクトダイヤルの機能ボタン

channel

チャンネル設定

本機のチャンネル切り替え方法

1. 「チャンネルボタン (**Channel**)」を長押しするとチャンネル設定画面に切り替わります。
2. セレクトダイヤルを回し、チャンネルを選びます。
Di700A、i60A、AirR を使用するときには、チャンネル 2 ～ 8 をお選びください。
3. もう一度「チャンネルボタン (**Channel**)」を長押しするか、10 秒間無操作にすると、元の画面に戻ります。



セレクト
ダイヤル

チャンネルボタン

！ 注意

ご使用の前に、コマンダー Air10s とストロボのペアリング設定を行いますが、その際、ストロボ側のチャンネルが「AUTO」または Air10s と同じチャンネルになっているか、ご確認ください。

セレクトダイヤルの機能ボタン

 **H^{ss}**

ハイスピードシンクロ(HSS)機能

本機は、1/8,000 秒のシャッタースピードまで同調するハイスピードシンクロ機能に対応しています。本機能は、**TTL** モードでも **M** モードでも使用できます。

ハイスピードシンクロを有効にする方法

本機をカメラに取り付け、カメラと本機の電源を入れた状態で、カメラの「フラッシュ機能設定」メニューで同期モードを「AUTO FP (HSS)」に設定してください。

(本機の HSS ボタン [**H^{ss}**] は機能しません。)

！ 注意

仕様上、最小発光量は 1/32 までです。液晶画面上で 1/32 未満に合わせても、シャッターを切ると発光量は自動的に 1/32 に変更されます。

セレクトダイヤルの機能ボタン

M.zoom

照射角（ズーム）の設定

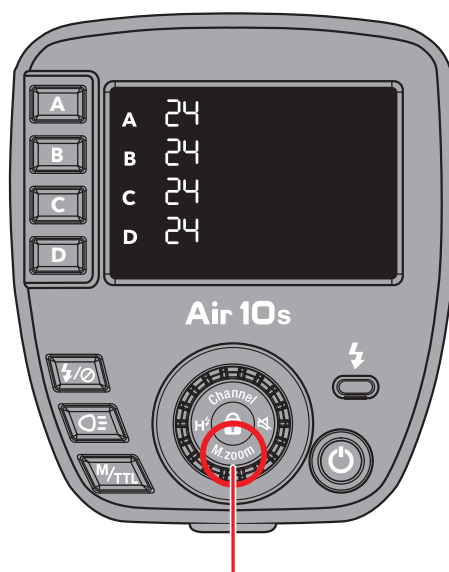
本機は、受信側のストロボの照射角（ズーム）を遠隔操作で切り替えられます。照射角は、**A**（オート）、**24**、**28**※、**35**、**50**、**70**、**85**、**105**、**135**、**200mm** にセットできます。

A（オート）にすると、カメラの焦点距離に自動連動するオートズームになります。

※ モデル、ファームウェアによっては28mmに設定できません。

照射角（ズーム）の切り替え方

1. **M.zoom** ボタンを長押しします。
2. 変更するグループボタンを押して、グループ表示を**点滅**させます。
3. セレクトダイヤルを回すと照射角が切り替わります。
4. 別のグループを切り替える場合は、そのグループボタンを押して、グループ表示を**点灯**にし、上記操作（2、3、4）を繰り返してください。
5. 元の画面にすぐに戻るには、もう一度 **M.zoom** ボタンを長押ししてください。何も操作しないで放置すると約 7 秒後に自動的に元の画面に戻ります。



M.zoomボタン

【メモ】：照射角の初期値は 24mm です。リセット（パイロットランプの長押し）を行うと 24mm にセットされます。

セレクトダイヤルの機能ボタン

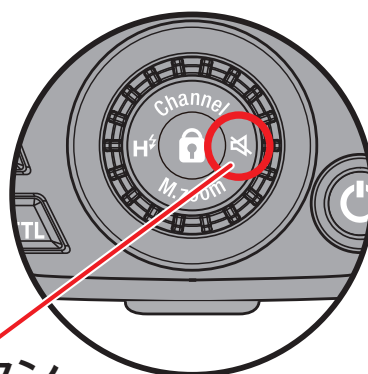


ビープ音のオン／オフ

初期設定では、本機の操作を行うと受信側のストロボ、レシーバーが信号を受信したことを知らせるために「ピッ」というビープ音が鳴ります。また、受信側のストロボがチャージ中の間もずっとビープ音が鳴ります。本機にはこれらのビープ音をオン・オフにする機能があります。

ビープ音の停止の仕方

1. 「ビープボタン (🔊)」を長押しするとビープ音がオフになります。
2. ビープ音をオンにするときは、もう一度「ビープボタン (🔊)」を長押ししてください。



ビープボタン

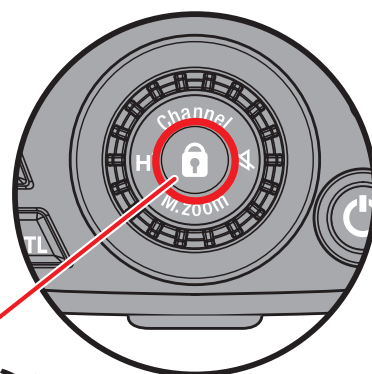
セレクトダイヤルの機能ボタン



操作ロックボタン

操作ロックの仕方

誤操作防止のための「操作ロック」モードを装備しています。操作をロックするときは、セレクトダイヤルの真ん中にある（）を長押ししてください。解除するときは操作ロックボタンをもう一度長押ししてください。



操作ロックボタン

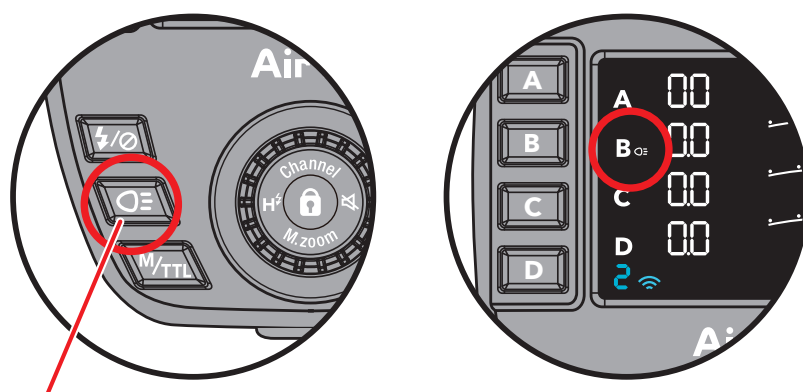
その他の機能ボタン

モデリング発光 ※ MG10、MG8、MG80 Pro のみ対応。

ストロボの光の方向性や、モディファイヤーを装着したときの光の拡散具合をシミュレーションするために、本機ではモデリングライトの発光機能を制御できます。

モデリング発光の仕方

1. モデリング発光するグループボタンを押して、グループ表示を**点滅**させます。
2. 「モデリングライトボタン ()」を押すとそのグループのストロボがモデリング発光し、液晶画面のグループ表示の右隣にモデリングマーク () が表示されます。
3. モデリング発光を停止する場合は、もう一度「モデリングライトボタン ()」を押してください。



モデリングライトボタン

その他の機能

AF補助光

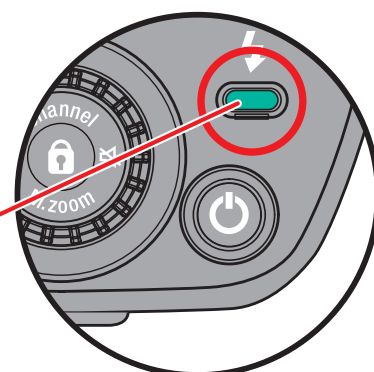
低コントラストの被写体を撮影するときや、暗所で撮影を行うとき、本機は自動で AF 補助光を被写体に照射し、合焦しやすくします。AF 補助光はシャッターが開く前に消えますので、撮影画像には写りません。

※ カメラによっては、カメラ側の AF 補助光を優先して発光させるため、本機の AF 補助光が発光しない場合があります。

リセット

リセットを行う場合はパイロットランプを 5 秒間長押ししてください。

パイロットランプ



ファームウェアアップデートについて

弊社サイトからダウンロードしたファイルをマイクロ SD カードに書き込み、製品のカードスロットに差し込んでアップデートできます。

詳しくは弊社ホームページ (www.nissin-japan.com) の Air10s 製品情報ページ内に、「ファームウェア・アップデート」へのリンクがありますのでご確認ください。

URL:www.nissin-japan.com/product/air10s/

各モードで利用できるグループ

TTLモード	A、B、C、D、 $\dot{A}$ 、 $\dot{B}$ 、 $\dot{C}$ 、 $\dot{D}$
Mモード	A、B、C、D、 $\dot{A}$ 、 $\dot{B}$ 、 $\dot{C}$ 、 $\dot{D}$
ミックスモード (TTL/M混在)	$\dot{A}$ 、 $\dot{B}$ 、 $\dot{C}$ 、 $\dot{D}$

主な仕様

対応カメラ	富士フィルム製デジタル一眼カメラ
ワイヤレス方式	NAS (Nissin Air System) 準拠の電波式 (2.4GHz 帯)
通信	事前にペアリング設定を行った NAS 対応機器とのみ通信
チャンネル	8 チャンネル (本機よりペアリングを行ったグループ全体の機器を一括にて設定)
発光グループ	A ~ D・A ~ D 合計 8 グループ (グループ別制御、グループ一括制御、グループ別発光・停止が可能。A ~ D は基本グループ、A ~ D はアドバンスグループ) ※1
電源	単 4 型 2 本 (別売)
発光間隔	最速 10 回 / 秒
発光回数	約 3,000 回 (アルカリ乾電池使用時)
使用可能範囲	最長 100m (使用環境によって異なります)
動作モード	TTL・・・1/3EV ステップ ※2 M (マニュアル)・・・FULL ~ 1/256、1/3EV ステップ ※2
ズーム調整	本機より NAS ストロボの照射角変更可能 (AUTO・24/28※3/35/50/70/85/105/135/200)
ストロボ調光補正機能	-2.0 ~ +2.0 (TTL)・1/256 ~ 1/1 (マニュアル) 1/3EV ステップ ※2 グループ毎および全グループ一括での調整が可能
TTL 調光で得られた発光量がマニュアルモード切替時に反映される「TTL メモリー機能」搭載	
複数ストロボと同時にペアリングできる「オープンモード」対応 ※4	
TTL 発光モードとマニュアル発光モードを混在して使用できる「ミックスモード」対応 ※4	
ハイスピードシンクロ / FP 発光：対応	
後幕シンクロ / スローシンクロ：対応 ※5	
モデリングランプ：グループ毎にオンオフが可能 ※6	
AF 補助光：有効距離 0.7 ~ 5m	
背面操作部：カラー LCD・ダイヤル式マルチセレーター	
ファームウェアアップデート：microSD カードによるユーザーアップデート可能	
付属品	専用ケース
寸法 (幅 x 高さ x 奥行)	約 65x60x60mm
質量	73g (電池除く)

※1. Di700A、i60A、AirR の 3 モデルは、A、B、C の 3 グループのみ利用可能。

※2. 1/3EV ステップ調光、最小発光 1/256 に対応したストロボおよびレシーバーの場合。非対応の場合は 1/2EV ステップ (TTL)、1EV ステップ (M)、最小発光 1/128 になります。

※3. 28mm に対応していないモデルもあります。

※4. アドバンスグループのみ対応。

※5. カメラ側で設定が必要です。また、カメラ側に機能がない機種がございます。詳しくは対応表をご覧ください。

※6. モデリングランプを搭載し制御に対応したストロボに限りです。

※ 製品の仕様は、改良などにより予告なく変更することがあります。

Nissinは、ニッシンジャパン株式会社の登録商標です。その他記載の会社名や製品名は、それぞれの会社の登録商標または商標です。

★カメラとの対応状況やファームウェアアップデートについては、ニッシンジャパンのホームページ各製品情報をご覧ください。

★お問い合わせはホームページのお問い合わせフォームをご利用ください。

Nissin ニッシンジャパン株式会社

〒166-0002 東京都杉並区高円寺北1丁目17番5号 上野ビル2F

ニッシンジャパンのホームページ <https://www.nissin-japan.com>

Ver. 23121101